

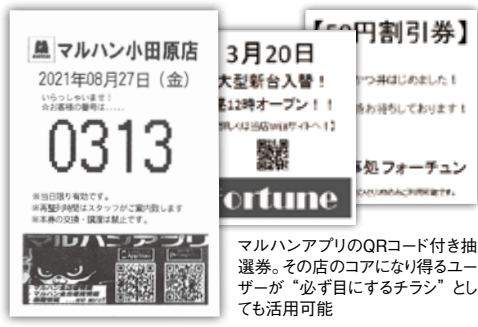
年末商戦、そして旧規則機撤去へ
新時代をサポートする

3商材 Sales Support Feature

クオード・インテック

トラブル知らずで多機能 全国大手も太鼓判の品質

抽選機「フォーチュン7」



マルハンアプリのQRコード付き抽選券。その店のコアになり得るユーザーが「必ず目にするチラシ」としても活用可能



取材時の行列の様子



「1、2回、口頭で説明すれば、誰でも簡単に操作できるように」と同店スタッフ。3人で約300人の抽選を行った

「オンライン抽選も考えたのですが、アクセス集中によるシステム障害が怖いし、何かあった際、現場では手の出しようがありません。その点、抽選機なら多少不都合があっても、現場で何とか対応できると考えました。ただ、今のところ、これといったトラブルは起こっていません。頼りになります」

クオード・インテックの抽選機「フォーチュン7」の使い勝手に
ついて語るのは、神奈川県小田原市の「マルハン小田原店」（パチンコ669台、パチスロ401台）の井出悠介マネージャー。

今年4月にグランドオープンした同店は、市内最大規模の大型店というだけでなく、全国大手が新築で開店させたホール。それだけに、開店前からファンの注目度は高かった。

「実際、オープン当日は1000人を超えるお客さまに抽選を受けていただきました。しかし、8時30分から抽選を始めて、入場開始の9時に余裕をもって間に合いました」

発売スピードは1枚あたり1秒弱。しかも、1台で2列の抽選作業が可能。同店ではオープン当日のみ、レンタルで1台追加したもの、以後は2台で抽選を実施。取材日も、2台4列で、約300人の抽選作業を10分程度でさばききっていた。

「屋根はあるものの、抽選は屋外。暑さ寒さを防ぐのが難しいですから、お客さまにストレスを与えないスムーズな発売は必須。その点、満足しています」

スマホ感覚で操作できるタブレット式で、パソコンの知識がなくても、各種設定や変更、調整は簡単に行える。

印刷内容を自在に変更できるのも、利点の一つ。同店では、全国の系列店・設置遊技機の情報を閲覧できる「マルハンアプリ」へ誘導するQRコードを掲載。開店から約5カ月間で、8000人以上がアプリをダウンロードしたというから、ちよつとしたチラシやポスターよりも、効果的な販促ツールといえそう。

「オンライン抽選と抽選機、どちらにするかでは悩みましたが、抽選機と決まっていたから、『フォーチュン7』一択でした。それぐらい、現場での信頼性が高い。使いこなせていない機能もありますから、どんな活用ができるか、考えていきたいです」と井出マネージャー。

なお、タブレットにはカメラが内蔵されており、顔写真を自動で撮影し、抽選券・整理券にプリント。さらに、タブレット上で、撮影した写真を閲覧・確認できる機能も搭載。

販促だけでなく、不正入場防止ツールとしても役立つ「フォーチュン7」。マルチな活躍を期待できる製品だ。